

【第14回】労務需給調査（土木工事）

2026年5月調査

土木施工単価の発刊に合わせ、年4回工事業者を対象に実施する「労務需給調査」（工事受注状況および職種別労務需給状況）の結果を以下に示します。

なお、工事別・職種別の詳細結果については当会HPの『けんせつPlaza』（<https://www.kensetsu-plaza.com/questionnaire/ce>）をご参照ください。



調査概要

○ 調査の目的

全国10地区における工事業者の工事受注状況および職種別労務需給状況を把握することを目的としている。

○ 対象地区

北海道・宮城（東北ブロック）、東京（関東甲信ブロック）、新潟（北陸ブロック）、愛知（東海ブロック）、大阪（近畿ブロック）、広島（中国ブロック）、香川（四国ブロック）、福岡（九州ブロック）、沖縄。

○ 調査対象業者

対象地区において、工事を受注している工事業者を選定（登録数：約500事業所）。

○ 調査時期

2026年4月下旬～5月下旬。

○ 調査方法

WEB調査。所定の項目に対して、回答者が以下のような5段階で評価、判断して回答する。

【工事受注状況】

1：減少 2：やや減少 3：不変 4：やや増加 5：増加

【職種別労務需給状況】

1：過剰 2：やや過剰 3：均衡 4：やや不足 5：不足

○ 集計方法

工事受注状況および職種別労務需給状況について、対象地区（全国10地区）ごとの単純平均により代表値（小数第3位を四捨五入）を算出した上でグラフ化する（広域ブロックを対象とした回答を含む）。

調査結果

I. 【工事受注状況】現時点での工事受注状況（前年同期比）

II. 【職種別労務需給状況】現状での労務需給および先行き（3カ月後の見通し）

n値は有効回答数である。

各項目の増減値または過不足値は、集計結果の平均値としている（ $n < 3$ の場合は（ ）書き）。

凡例

I. 【工事受注状況】現時点での工事受注状況（前年同期比）



【イラスト横の矢印】

前回から凡例区分（イラスト）に変動があった場合。全国頁のみ。

前回の区分からダウン 前回の区分からアップ



II. 【職種別労務需給状況】現状での労務需給および先行き（3カ月後の見通し）

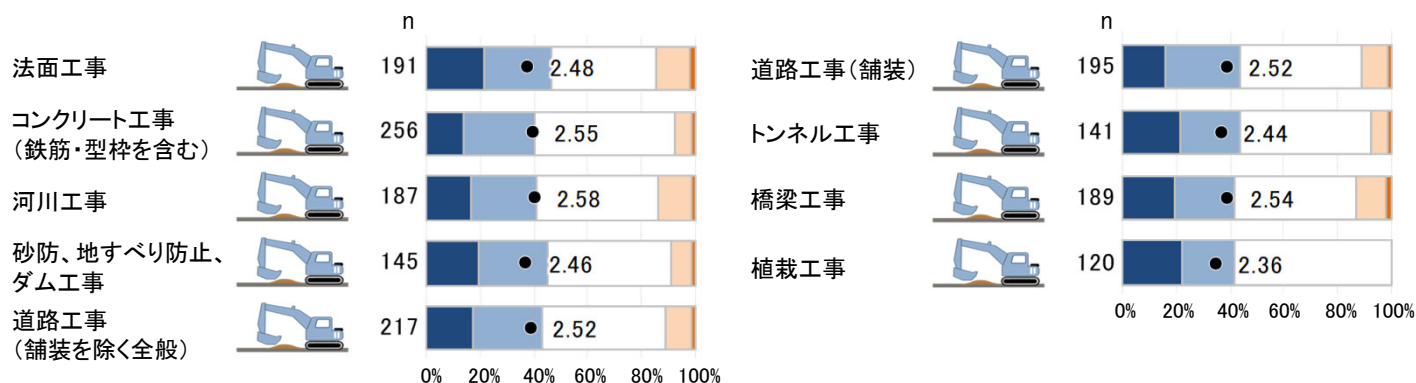
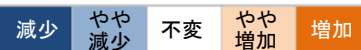
過剰	やや過剰	均衡	やや不足	不足
1.00～1.80	1.81～2.60	2.61～3.40	3.41～4.20	4.21～5.00

III. 「100%積み上げ棒グラフ」の色は、各回答の全体に占める割合を示す

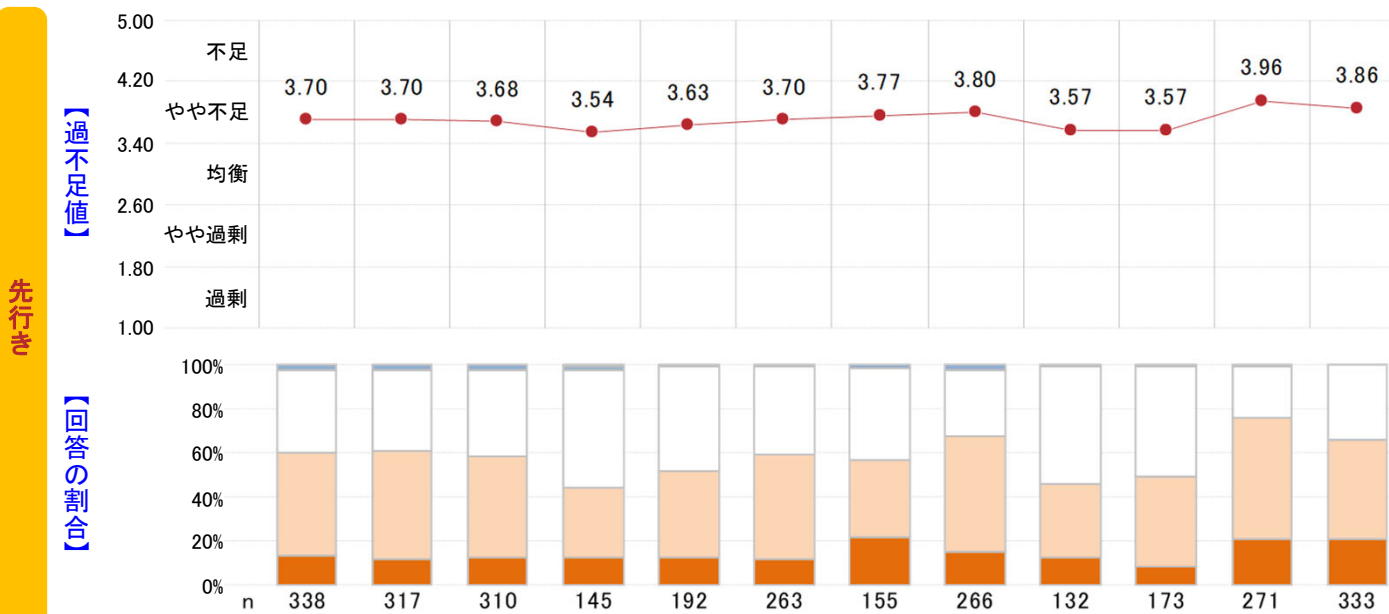
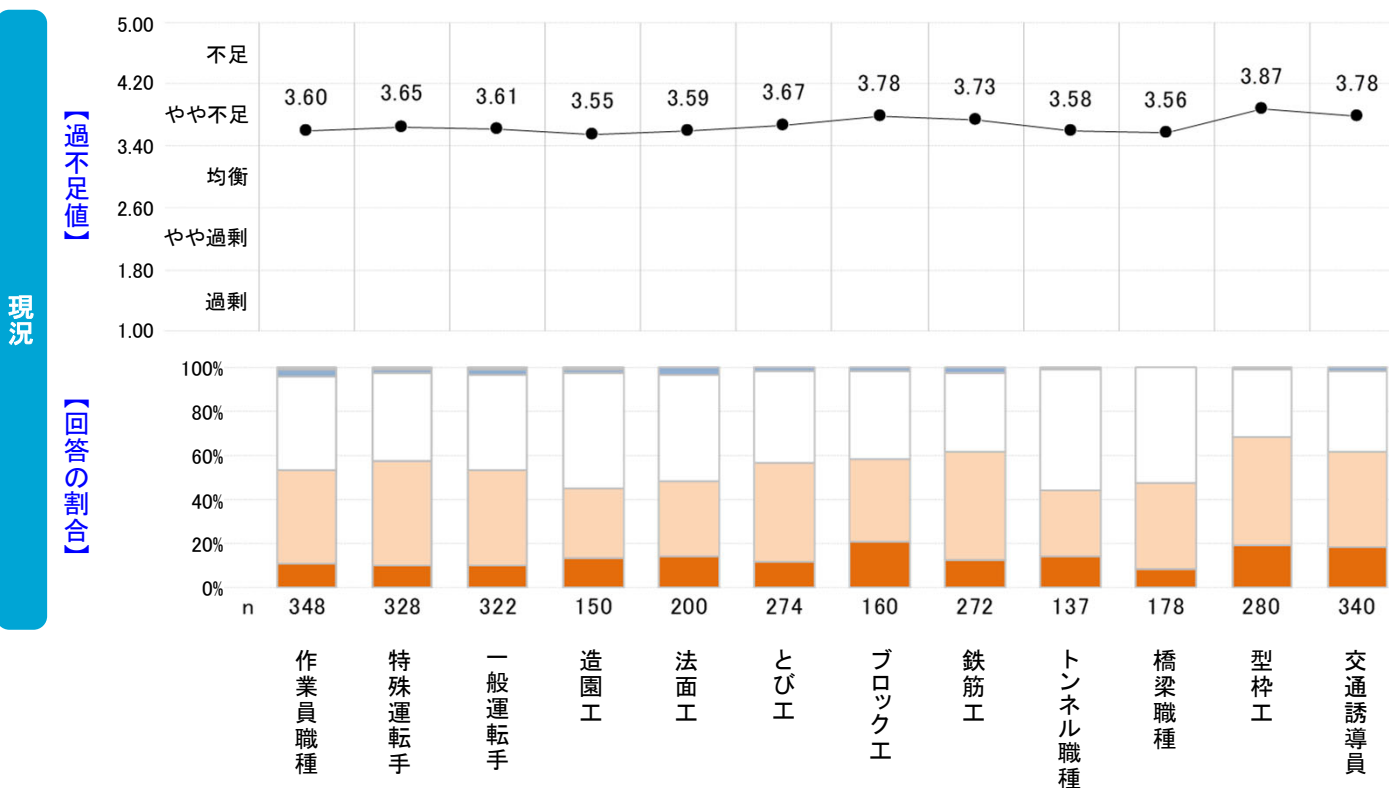
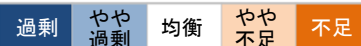
I. 【工事受注状況】	減少	やや減少	不変	やや増加	増加
II. 【職種別労務需給状況】	過剰	やや過剰	均衡	やや不足	不足

I. 【工事受注状況】現時点での工事受注状況（前年同期比）

●：増減値



II. 【職種別労務需給状況】現状での労務需給および先行き(3カ月後の見通し)



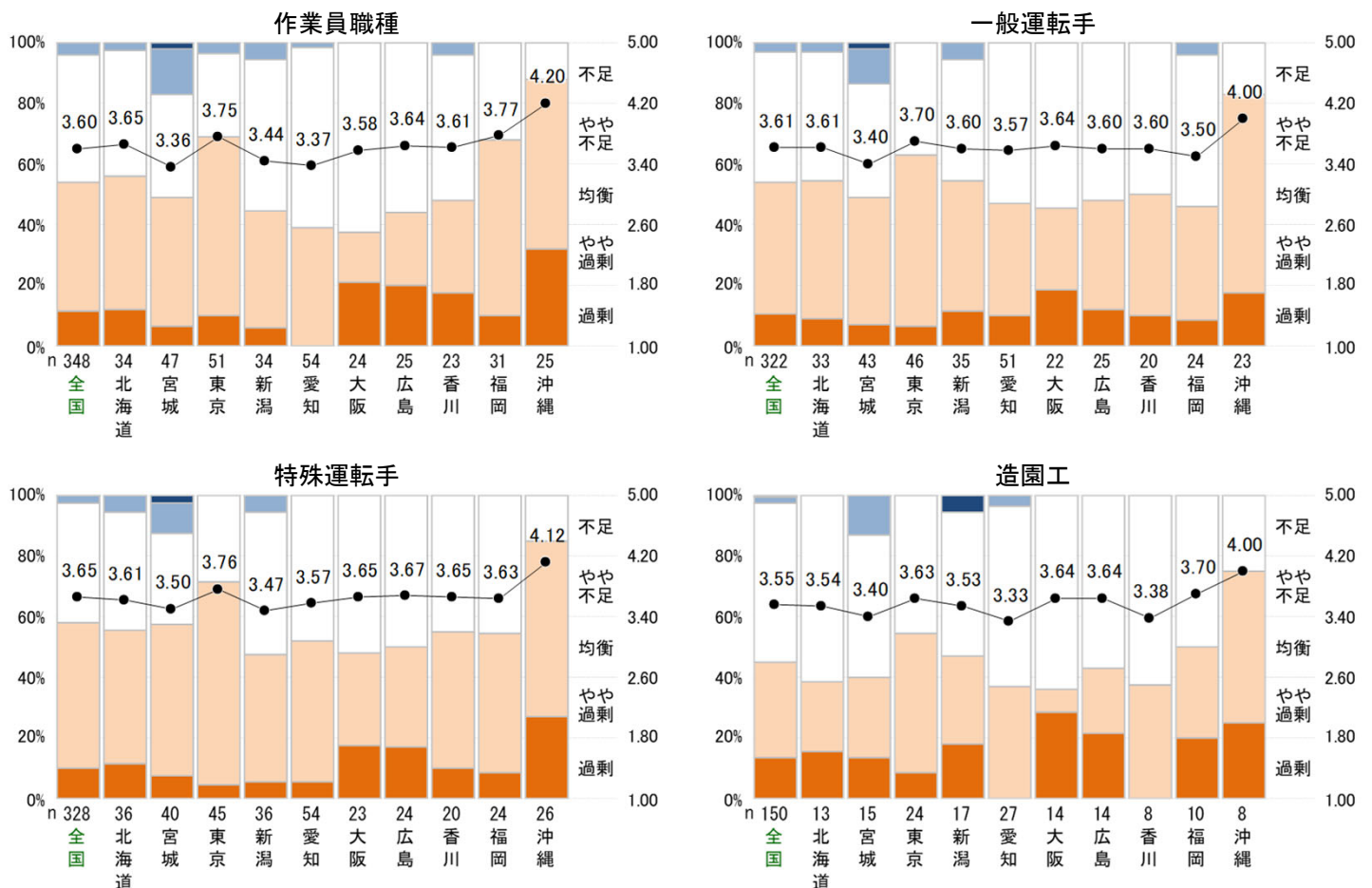
I. 【工事受注状況】現時点での工事受注状況（前年同期比）

数値：増減値



II. 【職種別労務需給状況】現状での労務需給

—●—：過不足値



Ⅱ. 【職種別労務需給状況】現状での労務需給

—●—：過不足値

